

令和6年度「清流の国ぎふ」づくり

自然共生工法写真コンテスト

応募作品
No. 1
）
No.17

主催 岐阜県自然共生工法研究会
岐阜県





「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	ショッピングモール前の糸貫川
撮影場所	本巣市三橋1丁目(糸貫川)
撮影日	令和6年5月3日
応募者コメント	ショッピングモール(モレラ)の駐車場の東側の糸貫川です。直線部で間知ブロック護岸ですが、いい感じに洲がついています。きれいに草刈されており、広い階段や飛び石が設置してあるので自然と川に降りたくなりました。階段を降りたところを石張りにしていたり、落差も段差ではなく石で傾斜をつけていたり、色々工夫されているようでした。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

緑化擁壁

撮影場所

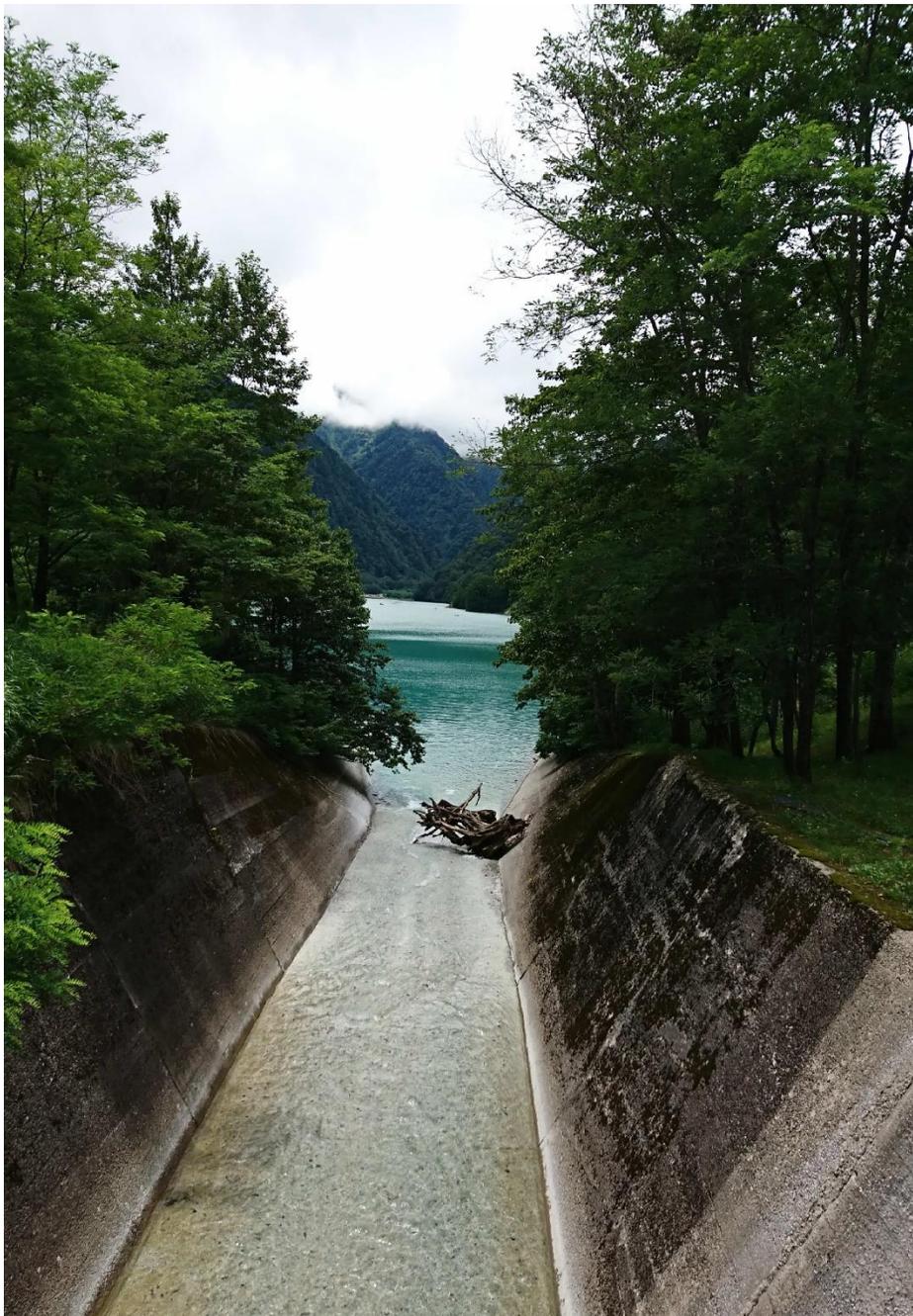
揖斐郡池田町宮地字男山(池田山)

撮影日

令和6年5月29日

応募者コメント

作業道設置工事
補強土壁前面に植生シートを設置して緑化を図りました。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル 白水湖の護岸施設

撮影場所 大野郡白川村平瀬(白水湖)

撮影日 令和5年8月13日

応募者コメント

白山国立公園内に存在する白水湖(写真の奥)に構築された三面張り護岸である。河床部は、護岸の洗掘防止かつ景観に配慮したコンクリート構造となっており、エメラルドグリーンの白水湖と護岸背面の木々と調和している。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル 自然と調和した美しい流路工

撮影場所 揖斐郡揖斐川町坂内広瀬地内

撮影日 令和5年8月31日

応募者コメント

木曾川水系大倉谷にある練石積で立ち上げられた砂防施設です。大雨直後の状況ではありますが、土砂流出を抑制し、渓谷の景観によく馴染み、砂防施設としての機能を果たしています。緑と綺麗な水の流れに調和した美しい流路工です。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	魚たちが住みやすいように
撮影場所	郡上市白鳥町六ノ里(牛道川)
撮影日	令和6年3月12日
応募者コメント	災害復旧工事の現場です。川幅も狭く流れも速いので、魚たちが休憩できる池を何か所か設けました。ここで産卵もできるかな。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	自然が彩る美しい景観
撮影場所	郡上市八幡町橋本町(吉田川・宮ヶ瀬橋)
撮影日	令和6年6月2日
応募者コメント	人工物の石積みの壁面に自然と緑化されていて、美しい景観と共に涼しさが感じられる。 遊歩道を散歩することにより、ストレス解消やリラックス効果など、自然の美しさや豊かさを感じながら、心地よい散歩を楽しめました。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

岐阜のグランドキャニオン

撮影場所

加茂郡川辺町下麻生(飛騨川)

撮影日

令和5年4月29日

応募者コメント

川辺町の遠見山からの眺望です。地形の特徴から「岐阜のグランドキャニオン」と言われています。
飛騨川の従来の河道が保全されています。また、河畔林によって、護岸が露出せず、良好な景観であることに加え、生物の生息環境が保全されています。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

かぐや姫の散歩道

撮影場所

可児市土田(木曾川)

撮影日

令和5年4月29日

応募者コメント

荒廃していた竹藪が、地元の方々によって適切に管理され、日差しが届く明るい空間が木曾川沿いに創出されています。川沿いの竹林は、河川増水時には川の流れを緩めることから、グリーンインフラとしての機能もあります。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	高山の日常風景
撮影場所	高山市本町(宮川)
撮影日	令和6年6月24日
応募者コメント	<p>岐阜県高山市にある、赤い橋で有名な宮川です。 すぐ隣では宮川朝市が開かれており、毎日たくさんの地域住民や観光客がこの場所を楽しんでいます。 川幅は広く、増水時には水量も増すため、堤防や置き石などで安全を確保しつつ、この景観を守っています。床止めによる水しぶきが涼しげで大変美しいです。</p>



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	大雨でも色彩豊かな荒城川
撮影場所	飛騨市古川町三之町(荒城川)
撮影日	令和6年6月23日
応募者コメント	<p>飛騨を流れる大河、宮川との合流地点のすぐ近くを撮影しました。広範囲にわたる寄せ石と植生の整備により、豊かな自然環境が整っています。</p> <p>春には荒城川沿いの桜が咲き誇り、多くの人の目を楽しませる河川です。</p>



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

美濃国の原風景

撮影場所

本巣市根尾能郷(西谷川)

撮影日

令和6年7月7日

応募者コメント

気持ちの良い晴れた日に、涼を求めて。
景観に配慮された自然石模様の魚道。
近くでは溪流釣りや川遊びもみられ、大切にしたい原風景。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	岐阜の夏休み
撮影場所	美濃市須原(長良川・州原神社前)
撮影日	令和6年7月7日
応募者コメント	岐阜の夏休みといえば川遊びやバーベキュー。長良川がもたらす豊かな自然の中、子供たちの遊ぶ姿が『岐阜の夏休み』を象徴している場面を写真にしました。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

凍ててなお

撮影場所

高山市丹生川町久手(一之谷)

撮影日

令和5年12月9日

応募者コメント

標高1,800m、冬を迎えた谷合では落下する水さえ凍てつく。休眠しているかのような砂防堰堤は、極寒の中でも春の雪解けや夏の出水に向け、黙々と構えを崩さない。撮影時12月の谷合は、この後さらに大量の雪を擁したことだろう。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

硬く柔らかく

撮影場所

高山市丹生川町久手(一之谷)

撮影日

令和5年7月25日

応募者コメント

平成9年度復旧治山事業による谷止工。水通しの鋼管スリット5基が、上流からの土砂を受け止めつつゆっくり下流へ送って土砂流出を平準化し、水流も絶やさない。硬い躯体で柔らかく自然に対応している。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル

曾代用水と桜

撮影場所

美濃市曾代(曾代用水)

撮影日

令和6年4月11日

応募者コメント

曾代用水は350年の歴史のある農業用水路で、平成27年に世界かんがい施設遺産に登録されました。この写真は昭和の初めまで取水口があった曾代公園(みちくさ館)で撮影しました。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	憩いの親水ため池
撮影場所	下呂市萩原町羽根(杉ノ下ため池)
撮影日	令和6年7月4日
応募者コメント	農業用ため池に親水機能をもたせ、地域住民の憩いの場となっており、堤体護岸の水際に杭柵を設置し、小型の魚類の隠れ家となるよう配慮している。



「清流の国ぎふ」づくり自然共生工法写真コンテスト

作品タイトル	木曾川の流れとじゃかご
撮影場所	可児市土田(木曾川)
撮影日	令和6年7月5日
応募者コメント	可茂総合庁舎から眺められる木曾川左岸には、コンクリート張護岸と併用し、伝統的工法の1つ「じゃかご」が設置されています。整備された竹林とともに景観を保ちつつ、激しい洪水においてもその機能は保たれています。